

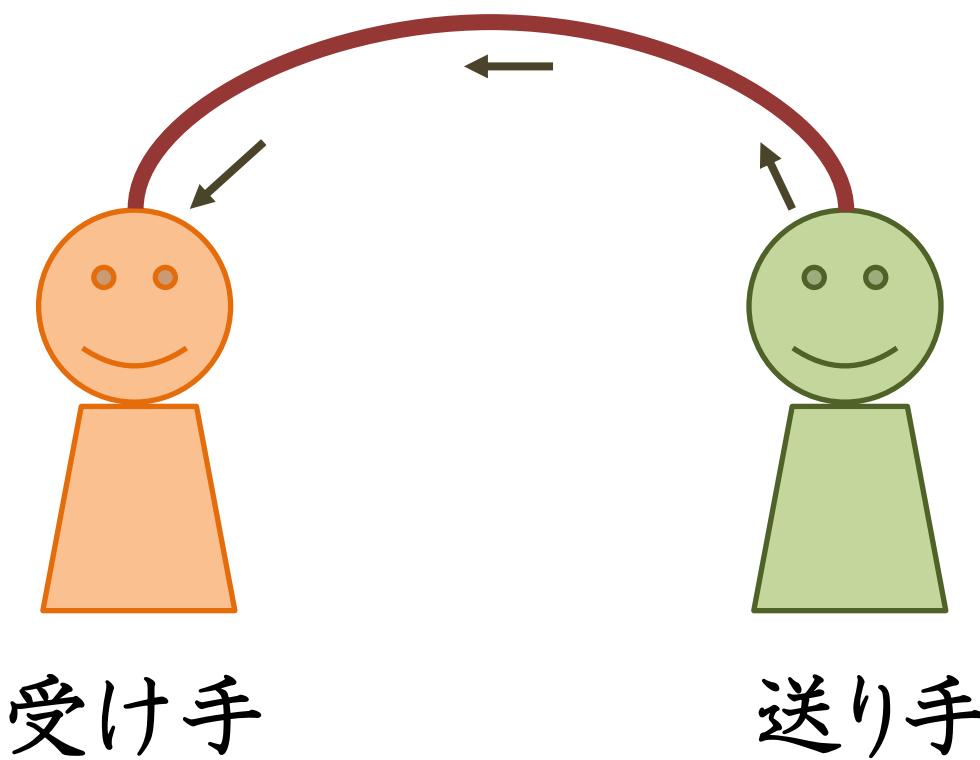
「何か伝わらないなあ」

「話が噛み合わないなあ」

導管メタファーというコミュニケーション観

一般的な情報伝達のカタチ

導管メタファー



中原 淳
長岡 健



DIALOGUE CHANGE
ダイアローグ
対話する組織

対話型のコミュニケーションで
働くオトナは、学び、成長する。
組織のあり方も、変わる。

「早く走る」
から
「深く考える」
へ

論理や数字だけでは窮屈ちしない
だから 行動につながらない

ダイヤモンド社

導管メタファーというコミュニケーション観

”送り手から受け手へ情報をいかに早く
正確に移動できるか“

単なる“情報の移動” “情報の流通の効率化”

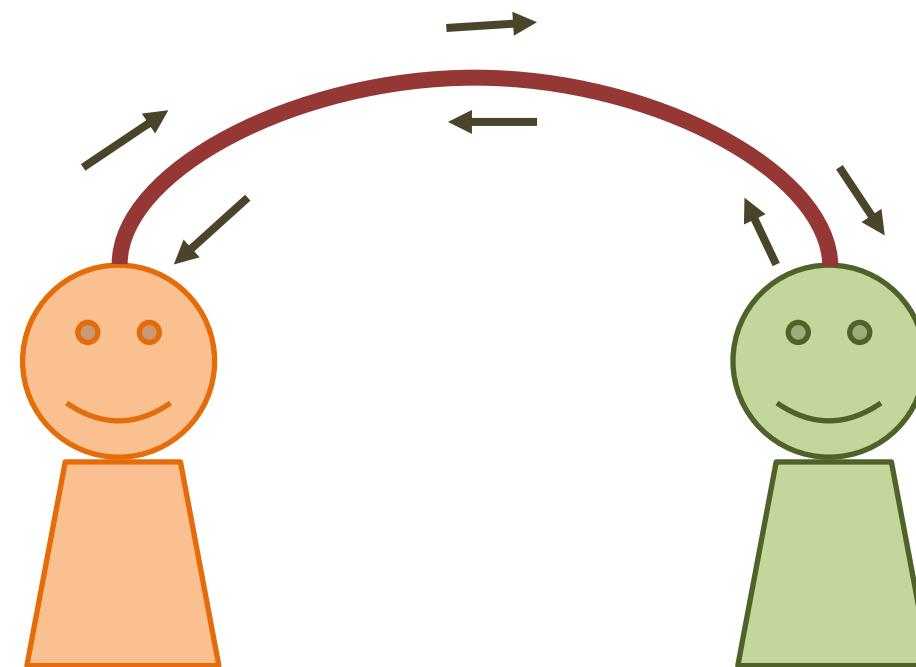
コミュニケーションの場を
“情報の流通経路”とみなしているのではないか…

これで伝わるのか？



対話(ダイアローグ)へ

対話(ダイアローグ)とは



受け手

送り手

双方向のコミュニケーション

相互理解を深めるコミュニケーション

自分らしさを意識し、他者への語りかけ、まなざし、言葉で、
さらに自分らしさを編み直し、紡ぎ出す

対話(ダイアローグ)とは

話し手と聞き手が固定的な役割にとどまることなく、

あるテーマに基づいて

相互に入れ替わりつつ語り合い、

双方の意見を少しずつ変えていきながら

共通の理解に到達していく

各々の背景にある価値観、世界観、ストーリー

を共有し他者理解、自己理解に近づける

というコミュニケーション観

対話(ダイアログ)とは

コミュニケーション	ムード	内容
対 話	自由	真剣
雑 談	自由	たわむれ
議 論	緊迫	真剣

対話(ダイアローグ)とは

- ① 共有できるテーマを決めて
- ② 自由なムードで
- ③ “私は～”と互いに真剣に語り合う
- ④ 何を言っても“安心”という場

対話(ダイアログ)の効用

- ①その状況に応じた問題設定を共同で
意味づけることができる
- ②自分自身の行動、考え方、経験を
批判的に振り返ることができる
- ③経験やエピソードを語らうことで、
ヒューマンネットワークが構築され、
知識共有を進めることができる
- ④共通経験のストーリーを語らうことで、
組織文化を醸成・共有でき、企業理念の
実践を批判的・創造的に後押しできる

対話(ダイアローグ)とは

各々の背景にある価値観、世界観、ストーリー
を共有し他者理解、自己理解に近づける

聞き手の共感や行動、考え方の変化を引き出せた時に
“伝わった”と初めて確認できる
“わかることと変わることは別”

“わかること”とは“変わること”

聞き手が変わっていなければわかったことにはならない

利用者支援で必要なコミュニケーション観・技術
職員間・他職種間の相互理解にも不可欠なもの

コミュニケーションのかたち

第四の道？！

オンライン
ダイアローグ

“相互理解”を重視

“個人の主体性”を重視

